

パソコンいわくら教室新聞

今ではスマホでもパソコンでも「クラウド」を併用して利用することが当たり前になっており、保存したデータは、同時にクラウドにも保存される仕組みです。

どんな仕組みなのでしょう

スマートフォンでは、機器の初期設定のとき必ずID登録を行い、そのIDで機器登録を行います。このIDは、ドコモでもauでもソフトバンクのものでもなく、iPhoneでは「アップル」、Androidでは「グーグル」へのID登録となっています。この登録で、スマホとそのアップルやグーグルが行っているオンラインサービスとが紐づけられ使用できるようになります。

サービスには様々ありますが、身近なところでは自動で行われる写真の同期でしょう。iPhoneでは「iCloud写真」へ、Androidでは「Googleフォト」へ保存されます。特にiCloudでは、無料で利用できる容量は5GBしかありませんので、「iCloudストレージがいっぱいです」のメッセージを目にした方もおられるでしょう。対応は有料で追加容量を契約するか、不要な写真を削除するか、放っておくか、でしょうか。Googleフォトでは15GBまで無料で使えます。

パソコンでは？

Windowsパソコンでも、前述と同じような仕組みとなっており、マイクロソフトアカウント(ID)を登録し、そのIDでパソコンを登録します。

このIDでマイクロソフトのオンラインサービスが利用できるようになります。スマホと同じようにデータを保存できる場所があり、名称は「OneDrive」、無料で利用できるのは5GBです。

パソコンでは写真は撮影しませんが、様々な書類や取り込んだ写真、編集したビデオなど、様々なデータがあります。それらをすべて「OneDrive」に同期します。容量が少ないのですぐにいっぱいになり同期ができなくなります。

対応はスマホと同様です。放っておいてもパソコンに保存したデータが、OneDriveには保存されないだけです。支障がなければ、それでいいでしょう。しかし、同期の処理は行われますので、そのたびに「同期できない」旨のメッセージ

が表示されます。(同期用のアプリも作動したままです)のでパソコンの動きにも影響もあります)

OneDriveを確認

パソコンにはどのように保存されているのでしょうか。ファイルの状態を確認しよう。

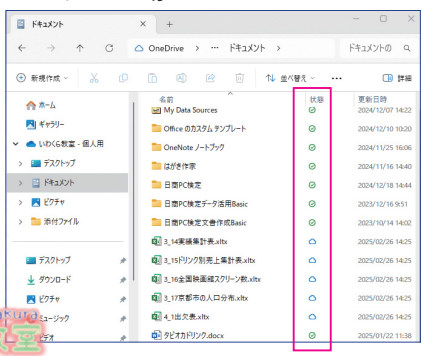
エクスプローラーを開いて見える、青い雲の形のフォルダがそれです。その配下に「デスクトップ」「ドキュメント」「ピクチャ」の3つのフォルダがあります。ワードやエクセルなどで作成したファイルは、この「ドキュメント」に保存され、同時にクラウドに同期されます。

保存されているファイルアイコンには印が表示されており、それぞれ次の通りです。

- ① パソコンとクラウド双方に存在する
 - ② 双方に存在するが、しばらく未使用だとパソコンからは削除される
 - ③ クラウドだけに保存されている
 - ④ パソコンだけにあり同期に失敗した
- また、更新中は緑の丸い矢印マークが表示

便利なOneDriveなのですが、規定で設定されることと、容量の制限もあり少々不便です。

次月はこのOneDriveの同期を停止させ、その上でOneDriveを使う方法をお話ししよう。



教室のWebページは左記アドレスから、スマホからはQRコードからどうぞ。
新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

